

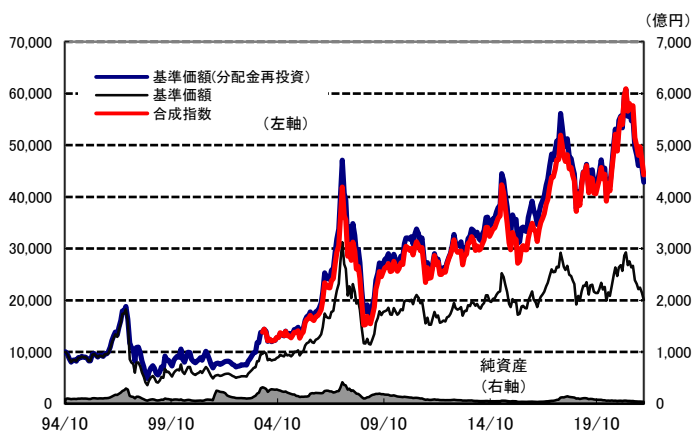


運用実績

2021年12月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の期間収益率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

|         |          |
|---------|----------|
| 基準価額※   | 20,062 円 |
| ※分配金控除後 |          |
| 純資産総額   | 34.6億円   |

- 信託設定日 1994年10月14日
- 信託期間 2024年10月15日まで
- 決算日 原則 10月13日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)

| 期間収益率 |        |        | 分配金(1万円当たり、課税前)の推移 |       |
|-------|--------|--------|--------------------|-------|
| 期間    | ファンド   | 合成指数   | 2021年10月           | 600 円 |
| 1か月   | -6.6%  | -6.1%  | 2020年10月           | 750 円 |
| 3か月   | -7.0%  | -7.8%  | 2019年10月           | 550 円 |
| 6か月   | -22.8% | -23.2% | 2018年10月           | 500 円 |
| 1年    | -19.7% | -18.0% | 2017年10月           | 850 円 |
| 3年    | 9.3%   | 15.4%  |                    |       |

収益率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

|           |        |        |       |          |
|-----------|--------|--------|-------|----------|
| ベンチマーク採用来 | 208.9% | 219.2% | 設定来累計 | 12,470 円 |
|-----------|--------|--------|-------|----------|

2004年1月末日以降 ※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

設定来 328.2% ※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

設定来=1994年10月14日以降

当ファンドは、2004年1月末から07年9月まで委託会社が独自にヘッジコストを考慮し円換算した合成指数(円ヘッジベース)をベンチマークとして採用していましたが、07年10月からは「MSCI チャイナインデックス(税引後配当込み・円ヘッジベース)」および「MSCI 香港インデックス(税引後配当込み・円ヘッジベース)」を80:20の比率で委託会社が独自に合成した指数へ変更しております。ベンチマークの累積収益は旧ベンチマークと現行ベンチマークの各々の採用期間の収益率をつないで算出し、04年1月末のファンドの指数水準を起点として指数化しております。

資産内容

2021年12月30日 現在

| 国・地域別配分    |        |
|------------|--------|
| 国・地域       | 純資産比   |
| 中国         | 55.4%  |
| ケイマン諸島(英領) | 22.3%  |
| 香港         | 20.9%  |
| -          | -      |
| -          | -      |
| その他の国・地域   | 0.0%   |
| その他の資産     | 1.4%   |
| 合計(※)      | 100.0% |

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。ケイマン諸島(英領)にはケイマン諸島に法人登録されている中国・香港企業が含まれます。※先物の建玉がある場合は合計欄を表示していません。

| 業種別配分                |        |
|----------------------|--------|
| 業種                   | 純資産比   |
| インタラクティブ・メディアおよびサービス | 14.3%  |
| インターネット販売・通信販売       | 11.3%  |
| 自動車                  | 8.6%   |
| 保険                   | 7.6%   |
| 資本市場                 | 7.5%   |
| その他の業種               | 49.4%  |
| その他の資産               | 1.4%   |
| 合計                   | 100.0% |

|        |      |
|--------|------|
| 実質外貨比率 | 1.7% |
|--------|------|

・実質外貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

組入上位10銘柄

2021年12月30日 現在

| 銘柄                                    | 業種                   | 純資産比  |
|---------------------------------------|----------------------|-------|
| TENCENT HOLDINGS LTD                  | インタラクティブ・メディアおよびサービス | 14.3% |
| AIA GROUP LTD                         | 保険                   | 6.8%  |
| HONG KONG EXCHANGES & CLEARING LTD    | 資本市場                 | 6.3%  |
| MEITUAN-CLASS B                       | インターネット販売・通信販売       | 5.4%  |
| CHINA MERCHANTS BANK-H                | 銀行                   | 4.1%  |
| WUXI BIOLOGICS CAYMAN INC             | ライフサイエンス・ツール/サービス    | 3.6%  |
| JD.COM, INC.                          | インターネット販売・通信販売       | 3.4%  |
| TECHTRONIC INDUSTRIES COMPANY LIMITED | 機械                   | 3.3%  |
| LI NING CO LTD                        | 繊維・アパレル・贅沢品          | 3.2%  |
| BYD CO LTD-H                          | 自動車                  | 3.2%  |
| 合計                                    |                      | 53.7% |

組入銘柄数 : 40 銘柄

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



## 先月の投資環境

○ MSCI チャイナインデックス(税引後配当込み、現地通貨ベース)※の月間騰落率は-7.16%となりました。香港上場の中国株式市場は、月初、中国企業の米国上場廃止への懸念が強まり、下落基調で始まりました。しかしその後は、銀行の預金準備率の引き下げが発表されるなど、中国政府による景気支援策が好感され、反発しました。中旬は、中央経済工作会議で2022年の経済の安定成長が強調されたことを受けて政策への期待が高まる場面もありましたが、米政府が中国企業8社を新たに投資禁止リストに追加するなど、米中対立激化への懸念が強まり下落しました。その後も、中国人民銀行(中央銀行)が1年8ヵ月ぶりに利下げしたものの市場への影響は限定的で、中国景気の減速懸念から続落しました。下旬は、中国の不動産業界に対する支援策への期待などから反発しましたが、中国国内の新型コロナウイルスの新規感染者数の増加などへの懸念から月末にかけて下落し、月間でも下落となりました。

○ MSCI 香港インデックス(税引後配当込み、現地通貨ベース)※の月間騰落率は-1.51%となりました。香港株式市場は、上旬、新型コロナウイルスのオミクロン株の世界的な感染拡大への警戒感やマカオのカジノ業界に対する規制強化の動きを受け、下落して始まりましたが、その後は中国の景気支援策への期待などから反発しました。中旬は、米中関係悪化への懸念や、主要国の金融政策の正常化に向けた動きが重石となり、下落基調で推移しました。下旬は、オミクロン株への警戒感が和らいだことや、欧米株高を背景に上昇基調で推移したものの、月間では下落となりました。

○ 中国の主なマクロ経済指標では、11月の中国製造業PMI(購買担当者景気指数)は50.1、同非製造業PMIは52.3と、いずれも市場予想を上回りました。

香港の主なマクロ経済指標では、10月の小売売上高は前年同月比で+12.0%となり、市場予想を上回りました。

※MSCI チャイナインデックス、MSCI 香港インデックスに対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

## 先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○ パフォーマンス: 月間の基準価額(分配金再投資)の騰落率は-6.58%、ベンチマークの騰落率は-6.09%となり、ベンチマークを0.49ポイント下回りました。株価騰落率がベンチマークを下回った中国の医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス株や小売株をベンチマークに比べ高めの投資比率としていたことが主なマイナス要因となりました。

○ 主な売買: 短期的に政府の金融緩和策による恩恵を金融市場を通じて享受できることに加え、中期的にも資産運用関連ビジネスからの利益成長が期待できると判断した中国の各種金融株を新規で買い付けしました。一方、主力のEコマース(電子商取引)事業の回復が想定ほど強くなく、政府による規制懸念も払しょくされにくいと判断した中国の小売株を一部売却しました。

○ 為替: 為替ヘッジ比率はおおむね高位を維持しました。

## 今後の運用方針 (2022年1月6日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○ 中国経済: 12月の政府発表の製造業PMIと民間企業を主な対象とする財新製造業PMIは共に前月から上昇し、景気判断の節目である50を上回りました。大手不動産会社の債務問題や電力不足問題などの影響で、2021年後半は短期的な経済成長の踊り場となりましたが、2022年に入り最悪期を脱しつつある兆しが見られます。電力不足の改善の兆しや、12月に実施した利下げに加え、政府による金融・財政の支援策などが期待されることから、大幅な景気減速や金融不安のリスクは限定的と見ています。

○ 中国株式市場: 新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念に加え、米国による中国企業への制裁措置や中国当局の大手インターネット企業への規制強化などの影響を注視する必要がある一方で、中国では経済正常化の実現が見込まれます。当面は、大手不動産会社の債務問題や電力不足問題などの市場への影響が懸念されますが、政府は経済の持続的な成長を目指し、金融・財政の両面で柔軟に政策対応を進めており、今後も投資家心理を下支えすると見ています。

○ 香港経済: 「香港国家安全維持法」に対する懸念がある中、12月の立法会(議会)選挙では中国の影響力が強まりつつあることが再確認されました。また、香港の不動産会社やマカオのカジノ産業への規制強化の動きも懸念されます。もともと、現時点では資金流出や不動産市場への悪影響は顕在化しておらず、新型コロナウイルスの影響で観光需要は回復が遅れているものの、主要な経済指標は前年比で改善が見られています。中国との隔離不要の往来再開が検討されていることなどもポジティブな材料であると考えます。

○ 香港株式市場: 新型コロナウイルスの感染拡大は効果的に抑制されているものの、観光需要の回復の遅れが懸念されています。一方で、新型コロナウイルスのワクチン接種が進捗しつつあることを考慮すれば、割安感のあるバリュエーション(投資価値評価)には見直しの余地があると見られます。香港の政治・経済情勢、中国経済の動向、米国の金融政策、新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大による影響などが注目されると考えます。

○ 運用方針: 地域別の投資比率は、現在と同程度の水準を維持する方針です。業種別では、新エネルギー車関連株、再生可能エネルギー関連株などの投資比率をベンチマークに比べ高めとする方針です。為替ヘッジは、現状程度のヘッジ比率を維持する方針です。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様にご帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ファンドの特色

- 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
  - 中国および香港企業の株式(DR(預託証券)\*1およびカントリーファンド\*2を含みます。)を主要投資対象とします。  
※1 Depository Receipt(預託証券)の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。  
 ※2 特定の国または地域の有価証券に投資することを目的としたクローズドエンド型の会社型投資信託をいいます。会社型とは、証券投資を目的とする会社を設立し、一般投資家(株主)がその発行株式を取得する形態をいいます。カントリーファンドは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。
  - 株式への投資にあたっては、今後高い成長が期待できる中国経済の発展の恩恵を受けられる中国企業、中国系香港企業および香港企業の株式に投資することを基本とします。
  - トップダウン・アプローチによる市場・業種配分とボトムアップ・アプローチによる銘柄選択を行ないます。  
 ◆ 香港取引決済所上場の中国関連銘柄(レッドチップ、H株等)、中国の深セン証券取引所上場銘柄、上海証券取引所上場銘柄等への配分や業種への配分は、流動性や産業の見通しを踏まえて決定します。  
 ◆ 銘柄選択については、株価キャッチアップ率や一株あたり利益の成長率等を用いた定量的な分析と個々の企業の競争力、財務体質、経営陣等の定性的な分析を行ない、決定します。
  - 市場動向、出来高、ファンドの資金状況によっては、株式組入比率を変化させる場合があります。
  - 外貨建資産については、原則として為替予約を活用し、為替変動リスクの低減を図ることをめざします。
  - 「MSCIチャイナインデックス(税引後配当込み・円ヘッジベース)\*1」および「MSCI香港インデックス(税引後配当込み・円ヘッジベース)\*2」を80%:20%の比率で委託会社が独自に合成した指数をベンチマークとします。  
※1 「MSCIチャイナインデックス(税引後配当込み・円ヘッジベース)」は、MSCI China Index(現地通貨ベース)をもとに、委託会社がヘッジコストを考慮して円換算したものです。  
 ※2 「MSCI香港インデックス(税引後配当込み・円ヘッジベース)」は、MSCI Hong Kong Index(現地通貨ベース)をもとに、委託会社がヘッジコストを考慮して円換算したものです。
- MSCI China Index およびMSCI Hong Kong Indexは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 当ファンドは、一般社団法人投資信託協会が定める「信用リスク集中回避のための投資制限」に定められている「特化型運用」を行なうファンドに該当します。当ファンドが投資対象とする中国および香港企業の株式の中には、寄与度(市場の時価総額に占める割合)が10%を超える、もしくはを超える可能性が高い銘柄(支配的な銘柄)が存在すると考えられます。投資が支配的な銘柄に集中することが想定されますので、当該支配的な銘柄の発行体に経営破綻や経営・財務状況の悪化等が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。
- 運用にあたっては、ノムラ・アセット・マネジメント・ホンコン・リミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。  
資金動向、市場動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

ファンドは、株式等を投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。  
 ※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2024年10月15日まで(1994年10月14日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則10月13日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万円以上100単位(当初元本100=1円)または1万円以上100単位  
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通配分金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

|                |  |
|----------------|--|
| ◆ご購入時手数料       | ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額<br>*詳しくは販売会社にご確認ください。   |
| ◆運用管理費用(信託報酬)  | ファンドの純資産総額に年1.672%(税抜年1.52%)以内(2021年7月9日現在年1.672%(税抜年1.52%))の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。  |
| ◆その他の費用・手数料    | 組入の有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。<br>※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。 |
| ◆信託財産留保額(ご換金時) | ありません。   |

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依りて異なりますので、表示することができません。  
 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

≪分配金に関する留意点≫

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

|  |  |
|--|--|
| <p>ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。<br/> <b>野村アセットマネジメント株式会社</b><br/>                 ☆ サポートダイヤル ☆ 0120-753104(フリーダイヤル)<br/>                 &lt;受付時間&gt; 営業日の午前9時~午後5時<br/>                 ☆ インターネットホームページ ☆ <a href="http://www.nomura-am.co.jp/">http://www.nomura-am.co.jp/</a></p> | <p>&lt;委託会社&gt; <b>野村アセットマネジメント株式会社</b><br/>                 [ファンドの運用の指図を行なう者]<br/>                 &lt;受託会社&gt; <b>野村信託銀行株式会社</b><br/>                 [ファンドの財産の保管および管理を行なう者]</p> |
|--|--|

ファンドは、変動のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

◆ 設定・運用は **野村アセットマネジメント**  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
 一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

# チャイナ オープン

## お申込みは

| 金融商品取引業者等の名称 | 登録番号                     | 加入協会    |                 |                 |                    |
|--------------|--------------------------|---------|-----------------|-----------------|--------------------|
|              |                          | 日本証券業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| 野村證券株式会社     | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号 | ○       | ○               | ○               | ○                  |

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。